

製品名: クロモグラニン A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21490**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:51kD;Observed MW:80kD

抗原情報

遺伝子名	Chromogranin A beta Granin;betagranin;N-terminal fragment of chromogranin A;catestatin;CgA;CHG A;Chga;chromofungin;Chromogranin A;Chromogranin A parathyroid secretory protein 1;Chromogranin A precursor;ChromograninA;CMGA_HUMAN;ER-37;Pancreastatin;Parastatin;Parathyroid secretory protein 1;Pituitary secretory protein I;Secretory protein I;SP I;SP-I;SP1;SPI;vasostatin 2;Vasostatin;Vasostatin I;Vasostatin II;vasostatin-2
別名	
遺伝子 ID	1113.0
SwissProt ID	P10645

免疫原

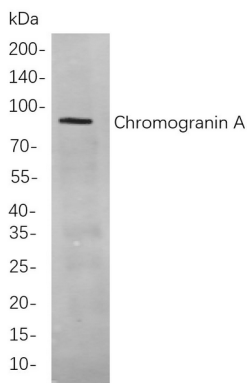
ヒトクロモグラニン A の合成ペプチド

背景

細胞局在: 分泌型。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、神経内分泌タンパク質のクロモグラニン / セクレトグラニンファミリーに属し、ニューロンおよび内分泌細胞の分泌小胞に存在します。この遺伝子産物は、バソスタチン、パンクレアスタチン、パラスタチンという3つの生理活性ペプチドの前駆体です。これらのペプチドは、神経内分泌系のオートクリンまたはパラクリン抑制因子として作用します。他の2つのペプチド、カテスタチンとクロモファンギンは、それぞれ抗菌活性と抗真菌活性を有します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2014年9月]

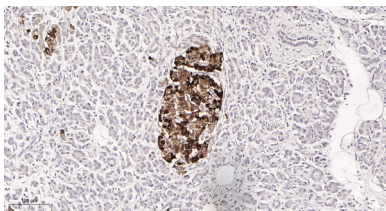
研究分野

画像データ

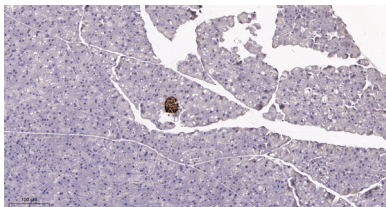


SH-SY5Y細胞ライセートのウェスタンブロット解析

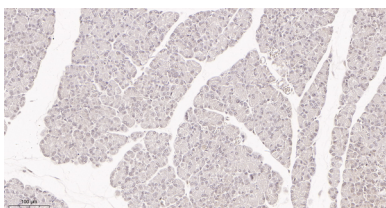
クロモグラニン A ウサギモノクローナル抗体を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト膵臓組織の免疫組織化学分析。1、クロモグラニン A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス膵臓組織の免疫組織化学分析。1、クロモグラニン A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット膵臓組織の免疫組織化学分析。1、クロモグラニン A ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。